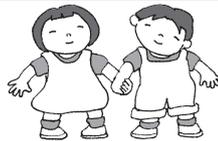


今月の花の写真「蠟梅—ロウバイ」



手をつなごう うえがはら



- 1面 新年のあいさつ・追悼行事
大学生ボランティア
- 2面 うえがはら防災教室2024
- 3面 うえみなフェス
小連体と中連体
- 4面 阪神・淡路大震災の教訓から
うえがはらinformation

■ 上ヶ原版の問い合わせは上ヶ原市民館へ ☎53-7862 ■ 編集 上ヶ原コミュニティ委員会

阪神・淡路大震災から30年

『宮っ子』は、平成7年新年号を発行した後、3〜5月号を休刊としました。6月号は全市版「阪神大震災復興特集」として発行。各地域の編集員は震災を記録し、住民に情報を伝えるために取材を続け、7月号は23地域版が加わり、8月号から全地域のページがそろいました。

7月号「復興特集2」は、市内や全国からのボランティアについて、8月号は、地域の助け合いや学生の力が支えになったこと、消防団の活動、感謝の思いが載っています。

上ヶ原地域の編集員は、避難所になった上ヶ原小学校の様子を記しています。震災3日目から関西学院大学のボランティア委員会から1日平均20人が来て、食事関係のことやごみ捨て、トイレの水の補給など、日常生活のさまざまなことで若い力が支えになりました。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます

令和7年は巳年
災害などの災いから脱皮し
平穩無事に過ごせますよう
皆さまには佳き年になりますよう
お祈り申し上げます

本年は、人と人の交流をテーマに、つながる地域コミュニティを目指した活動を展開していく所存です。
『宮っ子』の編集におきましても、地域の「かけはし」として、温かいふれあいを取材してまいります。
皆さまには、ご支援ご協力のほど、どうぞよろしく
お願い申し上げます。
上ヶ原コミュニティ委員会
委員長 増山良子

地域を支える大学生ボランティア

平成7(1995)年1月17日に起きた阪神・淡路大震災をきっかけに

→上ヶ原南小学校
「うえみなフェス」



→上ヶ原七番町
「カフェなないろ」



→上ヶ原小学校児童
の登校時の旗振り



関西学院大学のボランティア

大学生のボランティア委員会は平成7年4月に解散となり、学生と教員、職員が一緒になって運営する「関西学院ヒューマンサービスセンター」が新たに発足しました。学童保育ボランティア(ひまわり)や被災地への支援など、関西学院大学のボランティアセンターとして活動しました。

平成28年4月からは、ボランティア活動の一元化と大学による活動支援の体制整備により、「ボランティア活動支援センター」を開設。大学内・外に向けたボランティア活動に関する相談窓口として、「ヒューマン・サービス支援室」が設置されました。西宮上ヶ原キャンパス正門入って左の建物の1階にある支援室には、専従ボランティアコーディネーターと学生コーディネーターが、ボランティアをしたい学生の相談に乗っています。

追悼行事のお知らせ

阪神・淡路大震災30年の集い

- ◆ 1月11日(土) 10時〜11時30分
- ◆ 地すべり資料館(無料)
- ◆ 出演 関西学院
ベッツホール クワイア
ハンドベルクワイア
聖歌隊

慰霊碑広場で追悼の祈り

- ◆ 1月17日(金) 5時46分
- ◆ 慰霊碑広場
(地すべり資料館下)

主催 ゆりの会



「ヒューマン・サービス支援室」
専従ボランティアコーディネーター
岡秀和さん(後列左)と音川真凜さん(前列左)
学生コーディネーターの皆さん
(西宮上ヶ原、西宮聖和、神戸三田キャンパスで
合わせて約100人)

ボランティアの一例

地域団体での活動
夏祭り・子ども食堂・カフェ
ちびっこ広場・清掃活動など
災害支援
能登半島地震では、七尾市に
4回行き、仮設住宅を訪問し
て交流イベントを企画

「うえがはら防災教室2024」 11月2日 会場:上ヶ原小学校
自然災害に備えるため、「備え」「判断」「行動」を学び、模擬体験をしました

上ヶ原消防団の「水消火器体験」



台風の影響で大雨予報でしたが、開催時間帯には小降りになりました。足元の悪い中、高齢者や小さな子ども連れの親子の参加も多く、上ヶ原地域での防災意識の高さを感じました。

東日本大震災や熊本地震、昨年1月1日の能登半島地震、長雨や豪雨による土砂災害や洪水浸水など、毎年、日本のどこかで自然災害が起きています。

災害が予測される時、日頃から心掛けることや最新の知識を学び体験する「防災教室」を開催するため、「令和6年度未来づくりパートナー事業(地域力向上型)」に採択され、上ヶ原小学校全体を会場に計画することができました。多くの皆さんの協力をいただき、有意義な防災教室となりました。ご協力ありがとうございました。(上ヶ原地区青少年愛護協議会)

西宮市上下水道局の「給水車からの給水体験」



子どもも大人も一生懸命

リュックにしたら6Lまで運べます

上ヶ原小学校の受水槽にも応急給水が備わっています



炎を狙うのではなく火の根元を目がけて

阪神・淡路大震災、能登半島地震の写真パネル展示コーナー



西宮市消防局甲東分署の「救急救命講習」



もしもかめよ〜のリズムでしっかり押すと音が出ます

「消防装備の試着体験」



かっこいいけどとっても重い〜

民生・児童委員の新聞紙を使った食器づくり



新聞紙を折ってポリ袋をかぶせます

西宮市防災危機管理課の「段ボールベッド組立体験」



ジャバラを開いて、固定パーツを差し込むと丈夫なベッドに!

仁川百合野町自主防災会防災倉庫の保管品を展示



小学校の防災倉庫に保管されている防災関係の備品



関西学院大学社会学部・関ゼミの学生の皆さんが、身近な品を利用した応急手当のワークショップを開催



ビニール袋がポンチョに



取っ手の付いたレジ袋が三角巾に

医療法人財団 樹徳会

上ヶ原病院

西宮市上ヶ原十番町1-85

TEL.0798 (52) 2001(代)

～受け付けています～

- インフルエンザ等 各種予防接種
- 高齢者長寿健診
- 人間ドック
- 白内障手術(日帰り・入院)
- 外来リハビリ

送迎バス運行中

患者様・ご家族の皆様、どなたにもご利用いただけます(無料)

内科急患の方は24時間受け付けます

介護老人保健施設
デイケアセンター
TEL.0798 (52) 2003

陽喜な家

兵庫県指定居宅介護支援事業所
上ヶ原訪問介護センター
TEL.0798 (52) 2002

すまいる

「第1回 うえみなフェス」地域のみんで知り合おう♪楽しもう♪
パトパフォーマンス(広田くるくる)とフォークダンスからスタート!

11月4日 会場:上ヶ原南小学校



グラウンド・ゴルフ教室
(上ヶ原地区社会福祉協議会)

上ヶ原南地区で活動している諸団体の賛同を得て、第1回うえみなフェスを開催することができました。

各団体のブースをスタンプラリーで回り、「自分が住む地域で、こんな活動が行われているんだ!」「あの行事はこの人たちがやってくれているんだ!」と知る機会にもなりました。

268人の来場者に実行委員一同感激の1日でした。関西学院大学サッカー部が会場準備や各ブースを手伝い、子どもたちも楽しそうでした。

地域に育てられ愛される行事になるように、来年以降も開催する予定です。(上ヶ原南小学校コミスク)



野球・サッカー・ソフトテニスの体験
(スポーツクラブ21上ヶ原南)



牛乳パックでクラフト
(ボーイスカウト)



脱穀と石臼体験・そばクイズ
(上ヶ原を楽しむ会・蕎麦部)



展示・豆電球の発電体験(地球温暖化防止・上ヶ原南エココミュニティ会議)



ラリーのお楽しみは蒸しサツマイモです。
漢字ゲームで脳トレ(なないろの会)

開場100周年を迎える阪神甲子園球場で、心に残る宝物に

第63回 西宮市立小学校連合体育大会

11月5日

第68回 西宮市中学校連合体育大会

11月7日

日差しが強く汗ばむ陽気の中、全市立小学校40校と西宮浜義務教育学校、西宮支援学校の6年生約4300人が、この日のために練習を重ねた団体徒手体操やリレーに取り組みました。

学校が東西南北の4ブロックに分けられ、「ありがとう」「Moments」「仲間」「雲外蒼天」の異なるテーマで演じられ、上ヶ原小学校と上ヶ原南小学校の演目は異なりましたが、華やかな団体徒手体操と豊かな表現でダンスを踊り、観客を魅了しました。リレーでは学校代表の児童が全力を出して健闘する姿に、観客席から惜しめない拍手が送られました。

少し肌寒いながらも晴天に恵まれ、全市立中学校19校と西宮浜義務教育学校後期課程、西宮支援学校中学部の約11000人の生徒が、体操やダンス、競走競技に取り組みました。一人一人がしっかりと練習を積み重ね、心と動きが全中学校で一つになり、壮大な演技で感心しました。

競走競技では観客席の応援で盛り上がり、選手を勇気づけ、保護者の心も熱くなりました。最後に行われた校歌交歓も素晴らしく、上ヶ原中学校、甲陵中学校ともに吹奏楽部の演奏の下での大合唱は、みなぎる力があふればかりで、爽やかに大変感動しました。



上ヶ原南小学校「Moments」



上ヶ原小学校「雲外蒼天」



開会式…2年男子



団体徒手体操…3年男子

お得なキャンペーン実施中!!
公的年金の受取りは、近くて便利なJAへ!!

年金受取り口座のご指定替の方もぜひ! 詳しくは下記までお気軽にご相談下さい!



HYOGO ROKKO
JA兵庫六甲 甲東支店

西宮市神呪町3-41 電話 0798-51-3131 <http://www.jarokko.or.jp/>

出会いの

No.28

阪神・淡路大震災の経験、教訓からできた医療体制

交差点から

避難するときは、お薬手帳を持って

阪神・淡路大震災後にも大災害が続きました。その経験、教訓から医療チームとして被災地を支援する体制が発足しました。医療チームは医師、看護師、支援員で構成され、所属の医療機関の救急車で被災地に入ります。

県立西宮病院からヘリコプター搬送で患者を受け入れ、日本で初めての、多数のクラッシュ症候群の患者を治療しました。

阪神・淡路大震災の時は？ 30年前は26歳で、大阪大学医学部付属病院特殊救急部（現在の高度救命救急センター）にいました。被災地の病院に多くの患者がいるのに、道路が使えないために患者を迎えに行くことができない歯がゆさを感じました。



今回の出会いは仁川百合野町の青木正之さん(56)です 能登の避難所で活動する青木さん

11月2日のうえがはら防災教室2024で、準備や当日サポーターとして参加した医師の青木正之さんは、昨年1月1日に、最大震度7の巨大地震が襲った能登半島へ医療チームとして向かいました。災害時の医療や支援活動で感じたことについて聞きました。



全国からの医療チーム

避難時は本人確認ができるものや家族の連絡先、お薬手帳を持ち出し、災害時は電子情報が読めないで紙が一番です。

能登での活動で感じたことは？ 私の医療チーム（AMAT）は、9日に被災地に入り5日間活動しました。被災地の道路は亀裂や陥没、土砂崩れがあり、行ってみたいと分からない大変な状況でした。



宿のある金沢市から能登町まで、約50kmを4時間かけて向かいました

うえがはら information

今月の花の写真 (1面タイトル横)

●「蠟梅-ロウバイ」について

昨年1月ごろ、近くのお宅の蠟梅(ロウバイ)の良い香りに誘われて写しました。花は文字通り、黄色いろいろで作ったのかと見まがうほどの美しさに加えて、芳香があたりを漂っています。

【写真・文/木村 富江さん】

令和7年は、木村富江さんが1年間撮影した花や鳥など自然の写真を紹介します。

みんなの掲示板

縁起の良い白へび?

阪急清荒神駅から徒歩で約20分。清荒神清澄寺(宝塚市)の参道にある商店に小さなかawaii白へびがいます。蛇は通常冬場は冬眠しますが、ここでは冬でも、つぶらな瞳で迎えています。

大社町の廣田神社には2匹の白へびを描いた大絵馬が奉納されています。



地域団体からのお知らせ

●表彰「青少年健全育成成功労者表彰」

福島 和子さん (上ヶ原三番町) 尾河 優佳さん (上ヶ原七番町) 子どもたちの健やかな成長のために活動している人へ贈られます

●上ヶ原コミュニティ委員会からお知らせ

甲東公民館文化祭で、『宮っ子』ミニ・ギャラリー(2月21、22日)を展示します。観梅の際にご覧ください。

「出会いの交差点から」で話を聞いた人たちとの交流会を、3月22日に予定しています。詳しくは、次号でお知らせします。

公民館講座

Table with 2 columns: Date and Lecture Title/Instructor. Includes dates like 1/16(木), 2/6(木), 2/28(金), 3/8(土).

●上ヶ原地区社会福祉協議会の行事

地域で気軽に集い仲間づくりや情報交換ができる場です。 会場:上ヶ原市民館

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes 'ちびっ子広場' and '1月のちびっ子広場はお休みです'.

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes '上ヶ原サロン' and '1/13(月・祝) 櫻川流江戸芸かっぱれ南后会'.

Table with 2 columns: Date and Lecture Title/Instructor. Includes dates like 1/19(日), 2/9(日), 3/10(月).

*受付方法や定員などの詳細は、各講座チラシで確認してください